

～月の動きの写真～

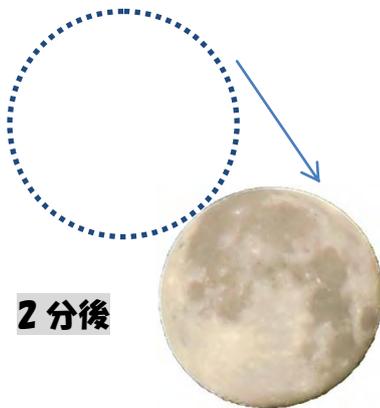
《方法》

- ①三脚にカメラを設置して、月が見える方向に向ける。
- ②コンパクトデジタルカメラを**オートモード**に設定する。
※. 夜も昼間もどちらも**オートモード**が良い。
- ③測光方式を**マルチパターン測光**に設定する。
- ④**ISO感度オートモード**に設定する。
- ⑤ズーム等して建物等を入れて構図を決める。
- ⑥カメラの位置を動かさずに一定時間ごとに撮影する。
※. 画像編集ソフト(PhotoShop 等)で複数の写真を合成して、1枚にすることもできます。



《月の動きの写真について一言》

- 多くのデジタルカメラではズームの具体的な倍率がすべて表示されていません。撮影の時間間隔を長くした場合は、カメラが自動的に電源オフになるので、ズームの倍率を一定に保つ事が難しいです。そこで、ズームの倍率がわかるポイントを決めて(例えば倍率が示されるポイントや光学ズームが最大のポイントなど)、撮影することをおすすめします。
- 月は2分間で月1個分動きます。ズーム1倍で2分毎に撮影したときは、月の移動はよくわかりません。2分間隔で月を撮影する場合は、ズームを5倍～10倍にすると、月の移動が確認できます。このように、月の移動の写真ではズームによって時間間隔を調整する必要があります。下の写真は、撮影した写真を合成したものです。参考にしてみてください。



ズーム1倍、30分間	ズーム5倍、5分間	ズーム10倍、2分間

裏わざ!!

上に示した方法で夜の月の移動の撮影をすると月の模様がよくわからない写真になってしまいます。しかし、撮影時にフラッシュを使用することで月の模様まで映ることがあります。これはカメラがフラッシュを使用すると、シャッタースピードを少し遅くするためです。ズームが10倍前後の場合、右の写真のように月の模様が映ります。ぜひ試してみてください。

